

高齢者施設 施設長様
通所系・短期入所系サービス事業所 管理者様
訪問系サービス事業所 管理者様

疥癬による集団発生が生じています！感染予防の徹底を。



最近、複数の市内の高齢者関係の事業所から疥癬の集団発生の報告を受けております。感染力の強い角化型疥癬（ノルウェー疥癬）が発生した場合、診断時には既に施設内で他の入所者・利用者の方、職員等に広がっている可能性があります。下記を御参照いただき、施設内、事業所内での発生予防及び診断された方がいる場合は、周囲の方への拡大防止のため早期発見、早期治療に御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

1 疥癬について

（１）感染経路

ダニの一種であるヒゼンダニが皮膚に寄生することで起こる皮膚疾患。直接的な肌から肌の接触による感染以外に、衣類やリネン類等を介してヒトに感染します。

（２）潜伏期間

通常疥癬の場合、約１～２か月（高齢者は更に長く数か月程度になる場合あり）をおいて、皮疹が出てくる。角化型疥癬の患者から感染する場合、短期間の４～５日後に発症することもある。

（３）症状

症状としては、腹部、胸部、大腿部などに、紅斑、丘疹、^{りんせつ}鱗屑、かゆみ（特に夜間）が生じる。

	通常疥癬	角化型疥癬（ノルウェー疥癬）
ヒゼンダニの数	週十匹以下	１００～２００万匹
患者さんの免疫力	正常	低下している
感染力	弱い	強い
主な症状	丘疹（赤いプツプツ）、結節など	厚い垢が増えたような皮膚状態（角質増殖） など
かゆみ	強い	不定
症状が出る部位	顔や頭を除く全身	全身

(4) 治療

治療の基本は殺ダニ剤によりヒゼンダニを殺すことです。殺ダニ剤には内服薬と外用薬がありますが、症状や年齢、妊娠の有無等により組合せて治療を行います。施設医（主治医）の指示に従って治療を進めていく必要があります。

2 感染対策

	対応	通常疥癬	角化型疥癬（ノルウェー疥癬）
隔離		不要	個室隔離（治療開始後1～2週間程度）
身体	手洗い（処置ごと）	励行	励行
介護	予防衣	状況に応じて（標準予防策）	患者対応時は着衣
入浴		制限なし	入浴は最後。使用後は水で流し、脱衣所は掃除機をかける
居室・環境整備	患者の居室・立ち回り先	不要	退院時に殺虫剤※散布、水拭き、掃除機
	床掃除	通常の清掃	モップや粘着シートで落屑回収後、掃除機で吸引
	布団の消毒	不要	ビニールに入れ殺虫剤を噴霧し24時間密封
	車椅子や血圧計等の管理	患者使用時の清拭	殺虫剤※散布、掃除機、清拭
	診察室・検査室ベッド	患者使用時の清拭	デスポシート使用
リネン類	シーツ・寝具	通常の方法 他の患者と共有しない	自家感染予防のため治療の度に交換
	洗濯物	ビニール袋に入れて運搬	ビニールに入れ殺虫剤※を噴霧し24時間密封
	洗濯方法	通常の洗濯	洗濯後に乾燥機を使用。または、50度10分間熱処理後に洗濯。

※殺虫剤はピレスロイド系殺虫剤を使用する。

日本皮膚科学会ガイドライン 疥癬診療ガイドライン（第3版） 表6 疥癬感染予防のポイントから

3 相談先

感染症に関する相談の連絡先は、以下のホームページを御参照ください。

▽京都市感染症・食中毒等に関する連絡先はこちら

[京都市：感染症・食中毒等に関する連絡先 \(kyoto.lg.jp\)](http://kyoto.lg.jp)



連絡先に関するホームページ
(二次元コード)

4 参考

- 「高齢者介護施設における感染対策マニュアル（2019年3月改定）」
[000500944.pdf \(mhlw.go.jp\)](http://000500944.pdf) （P57～ 疥癬に関する個別対策が掲載されています）
- 「高齢者介護施設における感染対策マニュアル（2019年3月改定）疥癬対策パンフレット版」
[000501126.pdf \(mhlw.go.jp\)](http://000501126.pdf)